

令和3年度吹田市障害者相談支援事業等委託業務1次評価結果

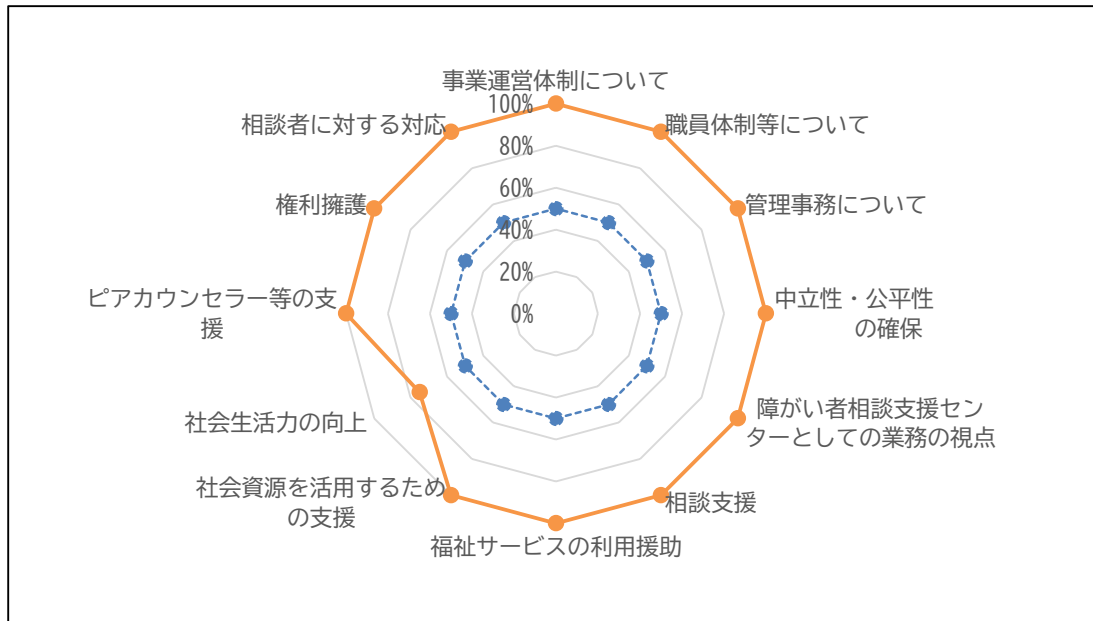
センター名 千里山・佐井寺障がい者相談支援センター

法人名 社会福祉法人 さつき福社会

評価結果 優

理由 同センターは、障がい福祉室の一次評価において、総合点の9割を満たすものであったため、適切に業務を実施し、求められる水準に達していると判断する。

総合点	組織・運営体制 評価点数	センターの役割 評価点数	相談支援事業 評価点数	相談者の満足度 評価点数
71	28/28 (点)	10/10 (点)	27/28 (点)	6/6 (点)



① 組織・運営体制

経験豊富な相談員2名、事業従事職員2名と規定より多く配置し、センター内で共有してチームアプローチにより支援にあたっている。「自主防災」をテーマにした地域ケア会議の開催にあたり、地域包括支援センター、地域住民、危機管理室等と連携し、センターとして地域の要援護者への支援について検討している。社会福祉協議会や地域包括支援センターと連携会議を行い、制度や機関の狭間にある社会的困難を抱えた住民に対する重層的支援体制の構築に注力している。

センターの役割

地域包括支援センター等との地域連携会議を定期的実施し、各機関が取組状況の情報交換を行うことで、地域住民が社会生活上で抱えている問題や、他機関との連携、具体的支援について継続的に協議している。相談支援センターの役割の周知や、社会資源を知るための情報アクセスツールを認知してもらうために、チラシ16000部を配布するなどして、地域住民に対し障がい者の相談窓口としての機能の周知に努めている。

③ 相談支援事業

センター内に留まらず、基幹相談支援センターや計画相談支援事業所、保健所等との多職種連携を図りながら相談者へのアセスメントや課題整理、意思決定支援に努め、本人へのエンパワメントアプローチを実施している。相談者の個別性に応じて目標設定を行い、問題解決のための情報整理をしながらニーズに沿った支援を提供している。

④ 相談者の満足度

利用者ニーズについて個別化して内容を整理しており、「職員の対応」や「相談に対する支援内容」等について訳8割の方から「すごく満足」しているとの評価を得ている。また、アンケートの分析・評価を行い、センターの満足度向上に積極的に取り組んでいる。

④ 総合的な評価

民生委員や地域住民からも相談が寄せられるようになり、相談件数も前年度に比べると増加しており、徐々にセンターの認知度が上がってきていると言える。相談においては丁寧なアセスメントを徹底し、エンパワーメントアプローチによる支援で現場の支援者に連携した後も経過を共有している。また、サービスの利用調整以外の支援も意識して関係機関と連携し、適宜情報共有や後方支援にあたるなど、適切に業務を実施している。

※ 評価結果の基準

センターの実施計画及び委託相談支援事業仕様書に基づき、書面又は聞き取りによる確認を行い、履行状況の適否を判断する。

○ 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を遵守し、適切である。 (2点)

△ 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を概ね遵守しているが、一部に課題がある。 (1点)

× 実施計画及び委託相談支援事業仕様書を遵守しておらず、改善が必要である。 (0点)

総合点の90%以上を「優」、70%以上を「良」、50%以上を「可」、50%未満を「不可」とする。「不可」の結果については、障がい福祉室と協議を実施する。